

高山市視察報告

視察日：平成21年11月27日（金）

視察地：高山市

- ・国の重要伝統的建造物群保存地区
（下二之町大新町伝統的建造物群保存地区、三町伝統的建造物群保存地区）

- ・高山祭屋台会館

視察者：中心市街地活性化協議会 白井、柴山

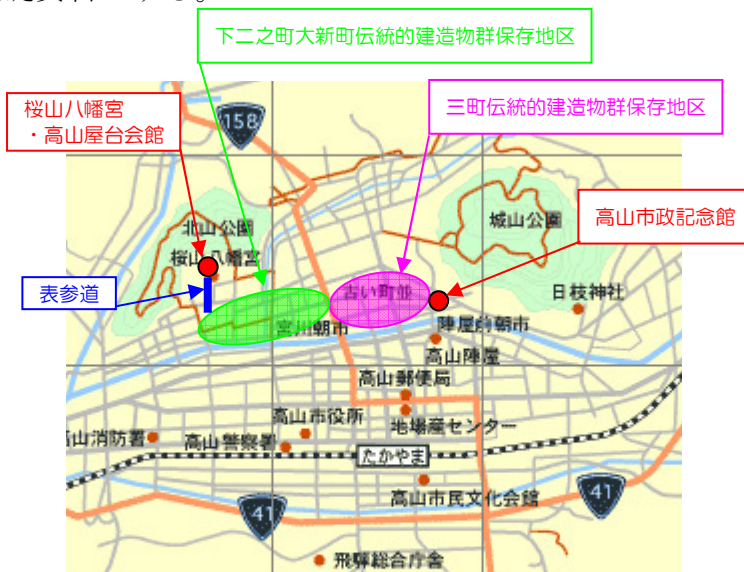
都市再生課 高野、田山

対応者：高山市教育委員会文化財課 岩田氏

高山市基盤整備部都市整備課 山口氏

視察目的：高山市の先進事例（古い町並み整備：町家修景、無電柱化、修景舗装、水路整備、街灯整備等）について学び、大津市中心市街地における旧東海道の歴史的資産・資源を活かしたまちづくりを進めるにあたっての整備方策の基礎資料とする。

○位置



○地域特性

- ・高山城（江戸時代初期の金森長近が築城）を中心とした城下町として発展。
- ・2箇所国重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けており、整備・保存された良好な町並みや市域を囲む山並み、中心部を流れる河川などの自然環境を活かし、観光都市として確立している。
- ・「高山祭」が伝統祭として継承されている。日枝神社の春の山王祭（4月14・15日）、桜山八幡宮の秋の八幡祭（10月9・10日）、高山祭はこのふたつの総称で、日本三大美祭のひとつに上げられている。巧みな動きを披露するからくり人形、仕掛けが施された屋台が町なかを巡行する。
- ・各伝建地区で伝統、文化を保存するとともに後世へ継承することを目的とし

て地域住民によって町（ちょう）単位で「町並み保存会」を組織。各保存会において町家の外観、内部構造などについて取り決めを行い、良好な町並みの保存を図っている。

- ・高山祭を継承するとともに伝統的建造物の保存を図るために「屋台組」を組織。組は、町（ちょう）を細分したより親密な地域間コミュニティーが構築されている班（15～20世帯）単位で組織されている。各組は一つの屋台と屋台を収納する屋台蔵を持つ。屋台を持たない組は、のぼりを挙げ、祭に参加する。なお、屋台組へは、ほぼすべての住民が加入している。

○「古い町並み」概要

■三町伝統的建造物群保存地区（上三之町）

（指定）昭和 53 年 10 月 3 日

（面積）約 4.4ha

（経過）昭和 30 年代後半、観光客が増え始めたことをきっかけに町を美しくしようという機運が高まり、昭和 41 年に上三之町町並保存会が結成。その保存会による要望を受け、昭和 43 年に電柱を撤去し軒裏配線を実施。その後、各町において保存会が結成され、無電柱化や町家の外観等の保存会単位での取り決めがなされ、修景舗装が進められる中、昭和 53 年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受ける。

（整備）

概要 : 町家外観整備、無電柱化（軒裏配線）、修景舗装（緑色骨材使用）、水路整備、街灯整備

◆町家外観整備

「町並み保存会」において、高さ・外観仕様等が取り決められ、統一した町並みが形成されている。

◆無電柱化（軒裏配線）

家屋の屋根の上や軒下にケーブルを配線し、道路上の配線を撤去し、良好な景観が形成されている。



◆水路整備

道路両側には水路を整備。常時水が流されており、歴史的な風情を演出。各玄関先の水路蓋については、保存会にて仕様を統一している。

◆修景舗装

一見通常のアスファルト舗装のように見えるが、緑色系の骨材を使用しており、黒舗装と見比べた時に落ち着いた視覚効果を受ける。

◆街灯整備

家屋の外壁取り付けタイプの街灯を設置。夜間点灯時には、レトロな雰囲気が漂い、町並みと調和している。

■下二之町大新町伝統的建造物群保存地区（下二之町）

（指定）平成 16 年 2 月 16 日

（面積）約 6.6ha

（経過）三町の伝建地区指定を受け、本地区内の一部区域において市条例に基づく市街地景観保存区域を指定し自主的な町並み保存が進められていた。しかし、周辺区域においても歴史的景観が失われていくことへの危機感から、平成 12 年から平成 15 年にかけて 6 つの町並み保存会が相次いで結成される。これら保存会の活動される中、平成 16 年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受ける。

（整備）

整備手法：街並み環境整備事業、まちづくり交付金

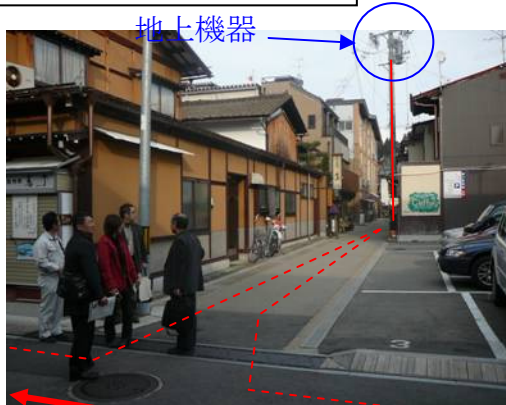
事業年度：平成 19 年から 21 年（3 ヶ年）

※現在整備中。今年度で抜柱、修景舗装を実施し事業完了予定。

概要：町家外観整備、無電柱化（電線共同溝方式）、修景舗装（緑色骨材使用）、水路整備、街灯整備



◆無電柱化（電線共同溝方式）
ケーブルは地下埋設し、電柱を撤去し
良好は町並みを構築。地上機器は枝道
路の電柱に添架させることで対応。



整備道路



■表参道

古い町並み（下二之町）から桜山八幡宮へ続く参道。修景整備（無電柱化、舗装など）を計画。これによって、市政記念館から桜山八幡宮まで無電柱化された道路が繋がる。



■高山祭屋台会館

桜山八幡宮境内にある屋台会館では、秋の高山祭に曳きだされる 11 台の屋台を年 3 回（3 月・7 月・11 月）4 台ずつ入れ替え、展示している。



◆屋台

金塗りや彫刻が施された屋台。上部でからくりが披露される。



◆蔵屋敷

古い町並みの一角に突如そびえたつ蔵屋敷。各屋台組が一つの蔵屋敷を所有する。